

ホウレンソウべと病の新レース対策

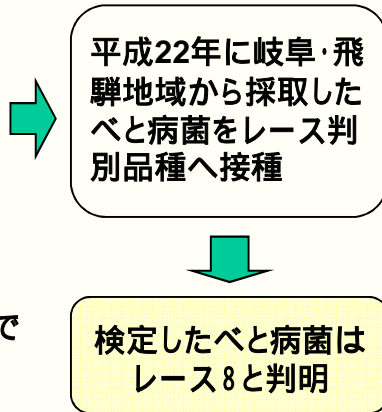
べと病はホウレンソウの重要病害です。最も有効な対策は抵抗性品種を利用することですが、近年、べと病菌の新しいレース（病原菌の系統）が次々と発生しています。そこで、ホウレンソウべと病菌のレースの検討、新レースに対する抵抗性品種の探索および殺菌剤を用いた防除法を（独）野菜茶業研究所と共同で研究しました。

（平成20～22年度病害虫総合管理技術推進対策事業）

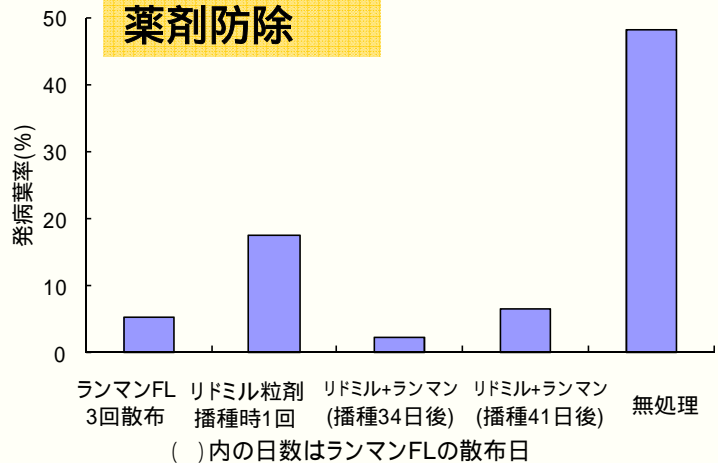
べと病菌のレース検定



レース1-7抵抗性品種でべと病が発病



薬剤防除

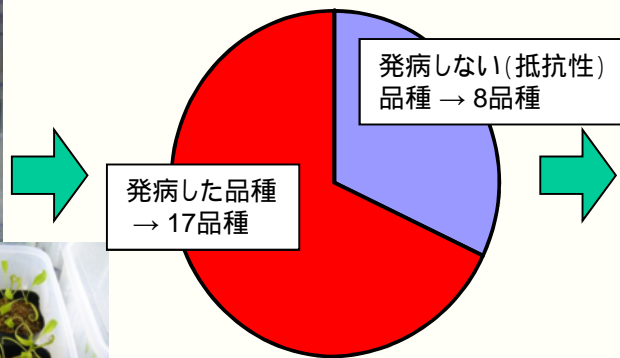


ランマンフロアブル3回散布または体系防除（リドミル粒剤播種時処理+ランマンフロアブル1回散布）が効果的！

レース8抵抗性品種の探索



べと病菌レース8を様々な品種に接種(室内試験)



圃場試験でも抵抗性品種は発病しない

べと病菌レース8が発生している地域でも抵抗性品種の利用で発生を防ぐことが可能！

（研究成果）

- ・べと病菌のレース8が発生していることが明らかになりました。
- ・薬剤防除はランマンフロアブルの3回散布またはリドミル粒剤（播種時処理）とランマンフロアブル（1回散布）の組み合わせ処理が有効です。
- ・レース8に抵抗性を有する品種を栽培することで発病は抑制できます。